

平成30年度10月期入学

博士後期課程

外国人留学生学生募集要項

Guidelines for International Applicants  
to the 2018 Doctoral Course Program  
【October 2018 Admission】

京都大学大学院工学研究科  
Graduate School of Engineering, Kyoto University

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

TEL 075-383-2040・2041

Kyoto University Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto, 615-8530, JAPAN  
Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041  
E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

## 目 次

I	募集人員	4
II	出願資格と出願資格の審査	
	i 出願資格	4
	ii 出願資格の確認（出願資格(2)(3)(4)）	5
	iii 出願資格の審査（出願資格(6)(7)）	5
	iv 出願資格の審査（出願資格(8)）	5
III	出願書類等	6
IV	出願手続	8
V	入学者選抜方法と受験票	
	i 学力検査	8
	ii 受験票	8
VI	合格者発表	9
VII	入学料及び授業料と入学手続	
	i 入学料及び授業料	9
	ii 入学手続	9
VIII	アドミッションポリシーについて	9
IX	博士後期課程入学後の教育プログラムについて	10
X	教育プログラムの内容（融合工学コース）	11
	個人情報取扱いについて	11
○	専攻別入学試験詳細	

## Contents

I Number to be accepted	12
II Eligibility and its screening	
i Eligibility	13
ii Eligibility Confirmation (under requirement (2) (3) (4))	13
iii Eligibility Screening (under requirement (6)(7))	13
iv Eligibility Screening (under requirement (8))	13
III Application Documents	14
IV Application Procedures	16
V Selection Methods and Examination Voucher	
i Academic Examination	16
ii Examination Voucher	16
VI Announcement of Entrance Examination Results	16
VII Admission Fee, Tuition and Admission Procedure	
i Admission Fee and Tuition	17
ii Admission Procedure	17
VIII Admission Policy	17
IX Educational Programs in Doctoral Course	18
X Educational Program (Interdisciplinary Engineering Course)	19
Handling of Personal Information	19
○Details of Entrance Examinations of Each Division/Department	

※本募集要項の記載内容については日本語版が優先となります。

I 募集人員 各専攻とも若干名

志 望 専 攻
社 会 基 盤 工 学 専 攻
都 市 社 会 工 学 専 攻
都 市 環 境 工 学 専 攻

II 出願資格と出願資格の審査

i 出願資格

**外国の国籍を持ち、在留資格「留学」を有する者、又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者**

- (1) 修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者及び平成30年9月30日までに該当見込みの者
- (2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者（ii 参照）
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者（ii 参照）
- (4) 我が国において、外国の大学の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程（本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。）を修了した者及び平成30年9月30日までに修了見込みの者（ii 参照）
- (5) 国際連合大学（国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項の規定によるものをいう。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月30日までに該当見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）  
大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者（iii 参照）
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年9月30日現在24歳に達したもの（iii 参照）
- (8) 外国の学校等において、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者であって、本学において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（iv 参照）

## ii 出願資格の確認（出願資格(2)(3)(4) 外国の大学院を修了した者等）

出願資格(2)(3)(4)により出願を希望する者（**外国の大学院を修了した者及び修了見込みの者又は外国において修士の学位を取得した者及び取得見込みの者**）は、事前に確認のため、修了（見込）証明書、学位証明書（修了証明書等で学位が確認できる場合は不要です。）及びⅢ出願書類等の⑤履歴書に記入後コピーしたものを、**平成29年12月5日（火）午後5時までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。**

## iii 出願資格の審査（出願資格(6)(7)）

出願資格(6)又は(7)により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の書類を**平成29年12月12日（火）午後5時までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。**

郵送する場合は、封筒の表に「工学研究科博士後期課程出願資格認定申請」と朱書し、必ず「書留」にしてください。（平成29年12月12日（火）午後5時（必着）まで。）

[提出書類] (1)(3)(4)の様式は工学研究科ホームページからダウンロードしてください。

(1) 出願資格認定申請・調書	(出願資格(6)又は(7)該当者)
(2) 成績証明書	(出願資格(6)又は(7)該当者) 最終出身学校が作成し、厳封したものを提出してください。
(3) 業績調書	(出願資格(6)該当者) 専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。
(4) 研究従事内容証明書	(出願資格(6)該当者) 所属機関等が作成し、厳封したものを提出してください。
(5) 資格免許証書等	(出願資格(6)該当者) 専攻分野に関連する各種資格免許証等参考になるとと思われる書類の写しを提出してください。

1. 出願資格の認定申請をした者には、書類審査の後、修士課程修了程度の学力について、口頭試問を行います。
2. 口頭試問は、平成30年1月10日（水）に京都大学大学院工学研究科において行います。
3. 資格審査の結果は、平成30年1月11日（木）に申請者あて郵送により通知します。

## iv 出願資格の審査（出願資格(8)）

出願資格(8)により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の書類を**平成29年12月12日（火）午後5時までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。**

郵送する場合は、封筒の表に「工学研究科博士後期課程出願資格認定申請」と朱書し、必ず「書留」にしてください。（平成29年12月12日（火）午後5時（必着）まで。）

[提出書類]

(1) 出願資格認定申請・調書	所定の用紙を使用してください。
(2) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査の合格証明書	本紙を提出してください。 博士論文研究基礎力審査に相当する審査（Qualifying Examination）を受けた機関の長による証明書
(3) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査の方法及び合格基準を示す資料	様式自由
(4) 博士前期に相当する課程の成績証明書	本紙を提出してください。
(5) 博士前期に相当する課程の教育内容を示す書類	科目一覧、科目概要等履修した博士前期に相当する課程がわかるもの

1. 出願資格の認定申請をした者には、書類審査を行います。
2. 資格審査の結果は、平成30年1月11日（木）に申請者あて郵送により通知します。

### Ⅲ 出願書類等

角型2号の封筒（240mm×332mm）の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての出願書類を封入し郵送してください。（持参する場合は、出願書類を封筒に入れる必要はありません）

志望する専攻の中には、独自の書類の提出を課していることがあります。「専攻別入学試験詳細」をよく読んで対応してください。

① 志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。 写真表には、上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真1枚（縦4cm×横3cm）を枠内に貼り付けてください。 *おって、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備しておいてください。
② 受験票送付用封筒	工学研究科ホームページからダウンロードした受験票送付用ラベルに372円切手（速達）を貼付のうえ、受験票発送時の連絡先、志望専攻を記入して、長形3号の封筒（119mm×277mm）に貼り付けてください。 <b>※海外への発送は行いません。</b>
③ 合格者受験番号一覧送付用封筒	工学研究科ホームページからダウンロードした合格者受験番号一覧送付用ラベルに82円切手を貼付のうえ、合格者発表時の連絡先、志望専攻を記入し、長形3号の封筒（119mm×277mm）に貼り付けてください。 <b>※海外への発送は行いません。</b>
④ 住民票記載事項証明書	在留資格、在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要。） 在留カード又は外国人登録証明書のコピー（表裏とも）でも可。 出願時に提出できない者は、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出し、入学時までには必ず本証明書を提出してください。
⑤ 履歴書	工学研究科ホームページから様式をダウンロードし、空白期間のないように記載してください。
⑥ 入学検定料  ※平成23年3月に発生した東日本大震災、平成28年4月に発生した熊本地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。 詳しくは、12月21日（木）までに、工学研究科 教務課 大学院掛まで問い合わせてください。	入学検定料 30,000円 支払い方法は、インターネット出願時に以下のいずれかを選択してください。・コンビニエンスストア ・クレジットカード ・金融機関ATM ・ネットバンキング  <b>※以下のいずれかに該当する者は検定料不要です。</b> ・京都大学大学院修士課程を修了見込みの者 ・国費留学生として入学予定の者（ただし、京都大学大学院工学研究科以外に在籍している国費留学生は、「国費留学生証明書」を提出してください。）  ※入学検定料の他に支払い手数料（500円）が必要となります。 ※願書受理後の入学検定料の払い戻しには応じません。
⑦ 成績証明書	本紙（オリジナル）を提出してください。 Ⅱ-i 出願資格(6)(7)(8)該当者及び京都大学大学院工学研究科修士課程在学学生 ・出身者は不要です。  京都大学大学院工学研究科研究生は、教務課留学生掛または文部科学省に提出したもののコピーで構いません。

<p>⑧ 修了（見込）証明書</p>	<p>本紙（オリジナル）及び学位取得証明書を提出してください。          なお、修了証明書等で学位が確認できる場合は不要です。          II-i 出願資格(6)(7)(8)該当者及び京都大学大学院工学研究科修士課程在学学生・出身者は不要です。</p> <p>京都大学大学院工学研究科研究生は、教務課留学生掛または文部科学省に提出したもののコピーで構いません。          再掲 II-ii：外国の大学院を修了した者及び修了見込みの者又は外国において修士の学位を取得した者及び取得見込みの者は、事前に確認のため、修了（見込）証明書、学位証明書（修了証明書等で学位が確認できる場合は不要です。）及びⅢ出願書類等の⑤履歴書に記入後コピーしたものを、平成29年12月5日（火）までに工学研究科教務課大学院掛へ提出してください。</p>
<p>⑨ Letter of Recommendation          ※外国の大学院を修了又は修了見込みの者のみ</p>	<p>所定の用紙を使用してください。出身大学の指導教員等による推薦が必要です。          京都大学大学院工学研究科研究生は、教務課留学生掛または文部科学省に提出したもののコピーで構いません。</p>
<p>⑩ 修士論文</p>	<p>修士論文のハードコピーを提出してください（電子データでの提出は不可。）          修士課程修了見込みの者は、「研究経過報告書」を提出してください。          研究発表等の資料があれば添付してください。          英語、日本語以外の論文は、英語又は日本語の要約を添付してください。          II. 出願資格(6)(7)(8)該当者及び京都大学大学院工学研究科修士課程在学学生・京都大学大学院工学研究科出身者は不要です。</p>

※ 日本語または英語以外で書かれている証明書を提出する場合は、日本語訳（または英語訳）を添付してください。

- \* 各専攻において、上記の書類とは別に書類を求める場合があるので、注意してください。  
 詳細は、「専攻別入学試験詳細」を参照してください。

#### IV 出願手続

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」、「入学検定料納入」、「出願書類の提出」をすることにより完了します。

インターネット出願システムのページには、以下の URL からアクセスしてください。

<https://www.univ-jp.com/kyoto-u-daigakuin/>

- (1) 出願者は、角型2号の封筒（240mm×332mm）にインターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを貼り、全ての出願書類を封入し郵送又は持参してください。
- (2) 出願書類に不備があるもの及び出願期間後に郵送、提出された出願書類は受理しませんので注意してください。
- (3) 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めませんので注意してください。
- (4) 次に該当する場合には納付済の検定料を返還しますので、工学研究科教務課大学院掛（TEL: 075-383-2040、FAX:075-383-2038）へ連絡してください。
  1. 検定料は納付したが京都大学大学院工学研究科に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
  2. 検定料を誤って二重に納付した場合※検定料返還を希望する場合は、①志願者氏名、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤検定料の納入方法、⑥納入した金融機関名又はコンビニエンスストア名及び支店名をファックスにてお知らせください。
- (5) 志望する専攻の中には、独自の書類の提出を課していることがあります。「専攻別入学試験詳細」をよく読んで対応してください。
- (6) 複数専攻への出願は認めません。
- (7) 京都大学大学院工学研究科では、障害等（学校教育法施行令に定める身体障害の程度）があり、受験上あるいは修学上の配慮を必要とする場合は、協議しますのでご相談ください。  
なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、相談を希望する者は、出願前の早い時期に工学研究科教務課大学院掛へ申し出てください。

#### 出願期間および入学検定料納入期間

平成30年1月12日（金）～1月18日（木）午後5時（必着）まで

この期間中に、インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ、なおかつ出願書類が本研究科に到着していなければなりません。

※ただし、1月16日（日）以前の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理します。

送付先：〒615-8530 京都市西京区京都大学桂 京都大学工学研究科教務課大学院掛

下記の日時のみ、出願書類の持参受付を行います。

平成30年1月18日（木）午前9時30分～午前11時30分、午後1時30分～午後5時まで

桂キャンパスBクラスター事務管理棟

#### V 入学者選抜方法と受験票

入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行います。

##### i 学力検査

試験日程は別途通知します。

##### ii 受験票

受験票は、出願書類②「受験票送付用封筒」に記入された住所へ2月上旬に郵送します。



## Ⅵ 合格者発表

日時：平成30年2月22日（木）午前10時

上記日時に、合格者の受験番号を京都大学大学院研究科インターネットホームページに掲載します。

（アドレス「<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1>」）

また、志願者全員に「合格者受験番号一覧」を送付するとともに合格者には「合格通知書」をあわせて送付します。（電話等による問い合わせには応じません。）

## Ⅶ 入学料及び授業料と入学手続

### i 入学料及び授業料

入学料 282,000円（予定）

**【国費留学生として入学予定の者及び本学大学院修士課程修了見込み者は不要】**

授業料 後期分 267,900円（年額 535,800円）（予定）

**【国費留学生として在学中は不要】**

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

### ii 入学手続

- (1) 合格者の入学手続の詳細については、平成30年9月上旬にインターネット出願システムに入力された志願者住所へ郵送により通知します。
- (2) 連絡先を変更した時は、教務課大学院掛まで、文書でお知らせください。
- (3) 事情により入学を辞退する者は、直ちにその旨を各専攻事務室（クラスター事務区教務掛）に届け出てください。
- (4) 平成30年10月1日までに留学ビザを取得しておいてください。
- (5) 入学手続き日は平成30年9月中旬の予定です。

## Ⅷ アドミッションポリシーについて

### i 工学研究科の理念・目的

工学は、真理を探求し、その真理を核として人類の生活に直接・間接に関与する科学技術を創造する役割を担っており、地球社会の持続的な発展と文化の創造 に対して大きな責任を負っています。京都大学大学院工学研究科は、この認識のもとで、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。

### ii 工学研究科が望む学生像

工学研究科では、次のような入学者を求めます。

- 工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人。
- 専門分野とこれに関連する諸分野において真理を探求するために必要な基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考と既成概念にとらわれない判断力を有する人。
- 科学技術および社会の諸課題について、知識を総合しその解決に取り組む中で創造的に新しい科学技術の世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。
- 他者の意見を理解し、自らの意見や主張をわかりやすく表明できるコミュニケーションの基礎的能力を持った人。

入学者選抜では、個別学力検査を実施し、学修を希望する専門分野の基礎的知識とそれを踏まえた論理的な思考能力に重点をおきつつ、英語の能力も含めて評価・選抜しています。博士入学者選抜では、前述の観点に加えて、研究を推進・展開できる能力および論理的に説明できる能力の評価も加えて選抜します。

## IX 博士後期課程入学後の教育プログラムについて

京都大学大学院工学研究科では平成20年4月入学者から、新たな教育プログラム『大学院博士課程前後期連携教育プログラム』を創設しました。教育プログラムの具体的な開講科目等については、入学後に配付される『学修要覧』をご覧ください。

### i 工学研究科の教育課程

工学研究科の教育課程の目的は、地球社会の永続的な発展と文化の創造、真理の探究並びに自然環境と調和のとれた科学技術の発展に貢献するため、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展をリードするとともに、豊かな教養と個性を兼ね備え、幅広い学識に支えられた創造的先端研究能力と高い倫理性を有し、自律的に真理を探究する研究者、高度技術者を育成することです。この目的を達成するため博士後期課程（3年）では、研究を通じた教育を介して、新しい研究分野において研究チームを組織し新たな研究をリードすることのできる研究者を育成します。研究を進める上で必要な専門的かつ基礎的な知識を修得させるための豊富な講義科目、実験・演習・セミナー科目を開講します。また、専攻の特徴に応じて、工学研究科に設けられた桂インテックセンター高等研究院や連携企業、国際機関等におけるORT(On the Research Training) や長期インターン等により幅広い学識と国際性を修得させます。

### ii 入学後の教育プログラムおよび修了要件

#### (1) 教育プログラム

京都大学大学院工学研究科には、修士課程（博士前期課程）と博士後期課程がおかれています。京都大学大学院工学研究科には、修士課程のみの教育プログラム（修士課程教育プログラム、略称「修士プログラム」）と、修士課程と博士後期課程を連携する教育プログラム（大学院博士課程前後期連携教育プログラム、略称「連携プログラム」）が開設されています。連携プログラムは、将来は研究者として活躍することを目指す者に対する教育プログラムです。

修士プログラムでは、各専門分野の専門基礎科目の講義を履修すると共に、修士論文研究を通して研究の進め方を学びます。企業、研究機関等の研究者、高度技術者として活躍することを目指す者に対する教育プログラムです。

連携プログラムは、系専攻を横断して新設された高等教育院に融合工学コースが、また既存の系専攻に高度工学コースが開設されています。それぞれに在籍期間を5年、4年、3年とする3つの型（「5年型」、「4年型」および「3年型」）が開設されています。博士後期課程入試を受験し、合格された諸君は、連携プログラムの3年型を履修することになります。

連携プログラムの融合工学コースにおいては、主指導教員に加えて原則として2名の副指導教員を定め、履修生の目的に応じたカリキュラム構成や進路指導等、綿密な指導を行います。履修生の学籍は、原則として主指導教員が所属する専攻に置かれます。また、学修・研究の進展に応じて、専攻毎に設定される時期に進級審査等が行われます。

なお、選択する教育プログラムに関わらず、博士後期課程に進学するためには、博士後期課程入学試験に合格する必要があります。

#### (2) 修了要件

博士後期課程に3年以上在籍し、研究指導を受け、連携プログラムが定める専攻科目につき10単位以上を修得すると共に、博士論文の審査および試験に合格した者には博士の学位が与えられます。

なお、学修・研究について著しく進展が認められる者は、審査を経て、博士後期課程の在籍期間を短縮して学位を得ることができます。

## X 教育プログラムの内容（融合工学コース）

### 人間安全保障工学分野

人口1000万人以上の都市域人口は、今後、急速な増加が予測されています。これら広域的な人口集中を呈する都市におけるベーシック・ヒューマン・ニーズの未充足、環境汚染の増大、異常気象や地震等による災害リスクの増加、これらの脅威に対する個人及びコミュニティ・レベルでの自立的対応能力の欠如は人間の生存・生活への大きな脅威となっています。しかし、これまでは技術、制度、運営・管理、ガバナンス及びそれらを体系的にマネジメントする学理体系と人材整備の大きな遅れのため、これらの脅威に対し、十分な対応ができていないというのが現状です。このような問題を解決していくためには都市管理戦略や都市政策策定などの次元を含む総合的な学問に基づいた教育・研究を推進することが必要です。

本教育プログラムが目指す人間安全保障工学とは、人々を日常の不衛生・災害・貧困などの脅威から解放し、各人の持つ豊かな可能性を保障するための工学です。その特徴として、

- 1) 徹底した現場主義と適正な地域固有性の取り込み
- 2) 技術、都市経営管理、制度づくりの共進化
- 3) 多様なアクターが主体となる構造の内包化

が挙げられます。また、以下の4分野を融合した、「まず問題ありき」の学問でもあります。

- 1) 都市ガバナンス：都市の地域固有性をふまえ、市民を含む多用な主体が、都市の人間安全保障の確立に向け協働する仕組みづくりの戦略と技法
- 2) 都市基盤マネジメント：経営管理の観点に立ち、財務的経営のみならず、災害・環境破壊の防止の社会的価値を考慮した都市基盤の展開・整備戦略の技法
- 3) 健康リスク管理：都市の衛生・環境に関する革新的及びローカライズした技術とその戦略
- 4) 災害リスク管理：都市の総合的な災害リスク管理の戦略とその実現のための方法論

本分野では、都市の人間安全保障工学を支えるコア領域と上記4つの基礎分野について、複数に跨がって確実な素養を獲得させ、それらを都市の人間安全保障確保に向け目的的かつ統合的に適用する能力と、その技法を深化・進展しうる能力を持った研究者及び高度な技術者を養成します。具体的には、以下の素養に富んだ人材を養成することを目標としています。

- 1) 独創性（メガシティの人間安全保障工学に関する幅広い知識と高い専門性を有するだけでなく、既存の専門分野を越える能力）
- 2) 国際性（英語での研究討論・発表能力、海外での教育・研究活動、人的国際ネットワーク構築能力）
- 3) 自立性（研究立案能力、教育・研究指導力、研究資金獲得能力、現場での解決能力）

### 個人情報取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

入学者選抜を通じて取得した氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）関係、②合格者発表関係、③入学手続業務を行うために利用します。

入学者選抜を通じて取得した個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（保健管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、入学者選抜を通じて取得した個人情報を電算処理する場合、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に個人情報を提供することがあります。ただし、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課します。

### 問合せ先

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂  
京都大学工学研究科教務課大学院掛  
TEL 075-383-2040・2041  
FAX 075-383-2038  
E-Mail 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

大学院入試に関する情報については、工学研究科及び各専攻のホームページに随時掲載しております。風雪等による入試日程への影響が懸念される場合にも、下記ホームページから実施についての告知を行います。

※工学研究科のホームページ：<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/>

※各専攻のホームページ：上記のURLよりアクセスしてください。

※The Japanese language version of the information provided here is to be given precedence.

**I Number to be accepted      A Few**

Civil and Earth Resources Engineering
Urban Management
Environmental Engineering

**II Eligibility and its screening**

**i Eligibility**

**Applicants must have non-Japanese citizenship and hold the residence status of “College Student” at the time of admission, and satisfy any of the following eligibility (or will satisfy any of the following eligibility by the end of September 2018).**

- (1) A person who has received, or is expected to receive a master degree from a Japanese university or a professional school, or a doctor degree in law by 30 September 2018.
- (2) A person who has completed, or is expected to complete a course in a foreign educational institution equivalent to a Japanese master’s course program or professional school by 30 September 2018.\*ii
- (3) A person living in Japan who has completed, or is expected to complete the correspondence courses equivalent to a Japanese master’s course program or professional school in a foreign-affiliated educational institution by 30 September 2018. \*ii
- (4) A person who has completed, or is expected to complete the education by 30 September 2018 in a foreign-affiliated university within a school educational system of a foreign country and designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to a person who has completed the courses in the master’s course program or a professional school equivalent to the Graduate School of Engineering). \*ii
- (5) A person who has received, or is expected to receive a degree equivalent to a master’s degree by 30 September 2018, through the completion of courses at the United Nations University (a university provided in Paragraph (2), Article 1 of the Act on Special Measures Incidental to the Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University (Act No.72 of 1976)).
- (6) A person designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (under Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology Public Notice No. 118, 1989). At the time of the application, a person who or has been engaged in research for at least 2 years at a university, research institute, or other institution in Japan or abroad, after graduating from a Japanese university, or completing 16 years of education in a foreign country or through corresponding courses provided by the foreign educational institution, and is recognized by individual screening in the Graduate School of Engineering as having academic abilities equivalent or superior to those given in (1) above. \*iii
- (7) A person who will be at least 24 years of age by 30 September 2018, and is recognized by individual screening in the Graduate School of Engineering as having academic abilities equivalent or superior to those given in (1) above. \*iii
- (8) A person who has passed a Qualifying Examination or equivalent assessment at an institution in another country, and is recognized by Kyoto University as having academic ability on a par with or higher than that of a person with a master's degree. \*iv

**ii Eligibility Confirmation (under requirement (2) (3) (4))**

**A person who has graduated or expects to graduate from a master’s course program of foreign university, including those who have received or expect to receive a master degree from a foreign university need to submit the photocopied graduation certificate (or certificate of expected graduation) and the photocopied resume form mentioned III⑤ in order to confirm your eligibility. These photocopied documents must be submitted to the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division of the Graduate School of Engineering by 5:00 pm, 5 December 2017. Submission by email is also available.**

**iii Eligibility Screening(under requirement (6) (7))**

Those who intend to apply under requirement (6) or (7) above are subject to screening prior to acceptance of their applications. The documents below must be submitted to **the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division by 5:00 pm, 12 December 2017.**

When mailing, use registered mail and mark “For eligibility screening for application to Doctoral Course Program in Graduate School of Engineering (Second Recruitment)” in red on the envelope. The required documents must be received by 5:00 pm, 12 December 2017.

[Documents necessary for eligibility screening]

(1) Eligibility statement	(Applicant under requirement (6) or (7)) Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.
(2) Academic performance record	(Applicant under (6) or (7)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the university at which the applicant has been enrolled.
(3) Statement of accomplishments	(Applicant under requirement (6)) Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.
(4) Certificate of research participation	(Applicant under (6)) Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering. To be prepared and sent in a sealed envelope by the relevant institution.
(5) Qualifications	(Applicant under (6)) Submit photocopies of documentation related to the field of corresponding department, including official qualifications, licenses and other materials.

1. Applicants are screened by oral examinations after the inspection of submitted documents for evaluating their academic abilities.
2. Oral examinations will be conducted on 10 January 2018 at the Graduate School of Engineering of Kyoto University.
3. The screening results will be mailed on 11 January 2018.

**iv Eligibility Screening(under requirement (8))**

Those who intend to apply under requirement (8) above are subject to screening prior to acceptance of their applications. The documents below must be submitted to **the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division by 5:00 pm, 12 December 2017.**

When mailing, use registered mail and mark “For eligibility screening for application to Doctoral Course Program in Graduate School of Engineering (Second Recruitment)” in red on the envelope. The required documents must be received by 5:00 pm, 12 December 2017.

[Documents necessary for eligibility screening]

(1) Eligibility statement	Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.
(2) Certificate that the applicant has passed the examination	Please submit the original of the document endorsed by the president of the examining institution.
(3) Documents which detail the examination procedure and qualifying criteria of the Qualifying Examination or equivalent assessment.	Any format is acceptable.
(4) Academic transcript of a program equivalent to a master’s program which the applicant has completed.	Please submit the original of the document.
(5) The curriculum details of a program equivalent to a master’s program which the applicant has completed.	Course list and course outlines

1. Applicants are screened by the inspection of submitted documents.
2. The screening results will be mailed on 11 January 2018.

### III Application Documents

Prepare a square shape envelope (Size 2, 240mm×332mm) and paste the label that you print from our registration completion screen of Internet Application System on the above envelope. Enclose the following application documents in the envelope and submit it by postal mail or by hand.

In some divisions/departments, you may be required to submit the other documents for application. Read the “Details of Entrance Examination of each division /Department” carefully.

① Application form, photograph	<p>Submit the designated forms that you can print from our registration completion screen of Internet Application System.</p> <p>Affix photograph taken within 3months (Single, Upper body front facing without hat) size (4cm×3cm)</p> <p>It is necessary to affix the photograph on examination voucher that we will send later.</p> <p>Prepare a total of 2 photographs in advance.</p>
② Return envelope for examination voucher to applicant	<p>Use the envelope provided.</p> <p>Please affix a ¥372 (express mail) stamp and write your applied department and contact address to a label of examination voucher which downloaded from website of Graduate School of Engineering, and paste it to long type envelope (Size 119mm×277mm).</p> <p><b>※The international shipping is not available.</b></p>
③ Envelope for the result of entrance examination	<p>Please affix an ¥82 stamp and write your applied department and contact address to a label of the result of entrance examination which downloaded from website of Graduate School of Engineering, and paste it to long type envelope (Size 119mm×277mm). <b>※The international shipping is not available.</b></p>
④ Certificate of Items Stated in Resident Register	<p>Certificate to show residence status and period of stay. (In applying for issuance of certificate, applicants must request of public office that information of residence status and period of stay be included on certificate)</p> <p>Photocopy of both sides of resident card (or foreign resident registration ID card) is also acceptable. An applicant who cannot provide it at the time of application must submit a photocopy of his/her passport pages (showing the photograph), and submit this certificate before enrolling.</p>
⑤ Resume	<p>Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering. .</p> <p>Fill out all items without blank.</p>
<p>⑥ Entrance exam fee</p> <p>※ For households in regions where the Disaster Relief Act is effective and whose principal wage-earner has been adversely affected by the March 2011 Great East Japan Earthquake (Tohoku earthquake and tsunami) and the April 2016 Kumamoto Earthquake, an exemption may be made to the payment of Entrance Examination Fees for cases where a <i>risai shomeisho</i> (Disaster Victim Certificate) has been issued. For further details, contact the administrative office at the Graduate School of Engineering by 21 December 2017.</p>	<p>Entrance exam fee: ¥30,000</p> <p>Select one payment method among four listed below when you apply to our Internet application system. • Convenience Store</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Credit Card</li> <li>• Bank ATM</li> <li>• Internet Banking</li> </ul> <p><b>※International students expected to receive the Japanese Government (<i>Monbukagakusho</i>) MEXT Scholarship and the students expected to graduate from the Master’s Course Program of the Graduate School of Kyoto University are exempt from this fee.</b></p> <p><b>Note: International students who are in receipt of MEXT Scholarship and who are not enrolled in the Graduate School of Engineering of Kyoto University are required to submit a MEXT Scholarship Student certificate (<i>kokuhi ryu-gakusei shoumeisho</i>).</b></p> <p>※ Applicants are required to pay a charge (500 yen) as well as entrance exam fee.</p> <p>※This fee will not be refunded after your application is accepted.</p>
⑦ Academic performance record	<p>Please submit the original of the document.</p> <p>Applicants meeting the requirements II-i (6)(7)(8) above, and applicants who have graduated (or expected to graduate) from the Master’s Course Program of the Graduate School of Engineering of Kyoto University do not have to submit this document.</p> <p>As for Research students in the Graduate School of Engineering who have already submitted this document to Foreign Student Section of Educational Affairs Division or MEXT, its photocopy is also acceptable.</p>

<p>⑧ Graduation certificate (or certificate of expected graduation )</p>	<p>Please submit the original of the document.  For those who have gained Master's degree, please submit Certificate of Master's Degree.(If graduation certificate shows that Master's degree has been completed, they don't need to submit Certificate of Master's Degree.)  Applicants meeting the requirements II-i (6)(7)(8) above, and applicants who have graduated (or expect to graduate) from the Master's Course Program of the Graduate School of Engineering of Kyoto University do not have to submit this document.  As for Research students in the Graduate School of Engineering, Kyoto University who has already submitted this document to Foreign Student Section of Educational Affairs Division or MEXT, its photocopy is also acceptable.  <b>*II-ii A person who has graduated or expects to graduate from a master's course program of foreign university, including those who have received or expect to receive a master degree from a foreign university, need to submit the photocopied graduation certificate (or certificate of expected graduation), Certificate of Master's Degree (If graduation certificate or other documents show that master's degree has been completed, applicants don't need to submit it and the photocopied resume form mentioned III⑤in order to confirm your eligibility.. These photocopied documents must be submitted to the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division of the Graduate School of Engineering by 5:00 pm, 5 December 2017.Submission by email is also available.</b></p>
<p>⑨ Letter of recommendation  ※ Only required by Applicants who have graduated (or expect to graduate) from foreign graduate school</p>	<p>Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.  Use the designated forms.  Submit a letter of recommendation written by former supervisor of applicants' university.  As for Research students in the Graduate School of Engineering, Kyoto University who have already submitted this document to Foreign Student Section of Educational Affairs Division or MEXT, its photocopy is also acceptable.</p>
<p>⑩ Master thesis</p>	<p>Please submit the hard copy of the master thesis. (The electronic data is not acceptable.)  The applicants who are expected to complete the master's course must submit "Research Progress Report".  If you have materials such as "Research Presentation" please attach the photocopies.  If the thesis is not written in English or Japanese, please attach summary of English or Japanese.  Applicants meeting the requirements II-i (6)(7)(8) above, and applicants who have graduated (or expected to graduate) from the Master's Course Program of the Graduate School of Engineering, Kyoto University do not have to submit it.</p>

※ If the certificate is not written in English or Japanese, both the original and its English or Japanese translation must be submitted. (A translation by the applicant is acceptable.)

◎ In some divisions/departments, documents and procedures other than those indicated above may be required for application. For further information on each division/department, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department".

#### IV Application Procedures

The application procedure will be completed that applicant registered our internet application system, complete the payment for entrance exam fee and Document submission within the application period.

Access the following our internet application system.

<https://www.univ-jp.com/kyoto-u-daigakuin/>

- (1) Applicant should paste the label that you can print from our registration completion screen of internet application system on the square shape envelope (Size 240mm×332mm), and enclose the all the completed application document by mail or hand in.
- (2) Fill out the forms completely and send them on time. Incomplete or documents those mailed or submitted after passed application period are not accepted.
- (3) No changes are allowed in applications once they have been received.
- (4) The entrance exam fee will be returned to the applicant under the following circumstances only (contact the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division in the Graduate School of Engineering (Phone: +81-75-383-2040, FAX: +81-75-383-2038)):
  1. The fee was paid but the applicant did not apply for Graduate School of Engineering, Kyoto University (No application was made for Graduate School of Engineering, or an application was not accepted by Graduate School of Engineering).
  2. The applicant inadvertently made a double payment of the fee.※If you wish to request a refund of entrance exam fee, please send fax to provide information on ①Name of Applicant, ②Postal Code, ③Address, ④Phone Number, ⑤Payment method of entrance exam fee, ⑥Bank or Convenience Store you used for payment and its branch name.
- (5) **In some divisions/departments, additional documents are required. Read “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department” carefully so that you can prepare complete application documents.**
- (6) **Simultaneous applications to multiple departments are not allowed.**
- (7) Persons with disabilities (recognized as a physical disability under the provisions of the directives for implementation under the School Education Law) are invited to consult with the Graduate School of Engineering, Kyoto University if their condition may require some care when taking the entrance examination and attending courses. Those persons are advised to contact the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division of the Graduate School of Engineering well in advance. It may require some time for the university to prepare for appropriate correspondence.

#### **Internet Application registration period and the period of payment for entrance exam fee**

**12 January to 18 January, 2018 5:00 pm (must arrive)**

Applicant should register our internet application system, payment complete for entrance exam fee and all the documents must have arrived at Graduate School of Engineering within the above mentioned period.

The application documents postmarked no later than 16 January and sent by registered express mail will also be accepted even if they arrive after the deadline.

Address: Graduate Student Section, Educational Affairs Division, Graduate School of Engineering, Kyoto University Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto 615-8530, JAPAN

We accept the application documents in person on the following date.

**18 January, 2018 (9:30-11:30am, 1:30-5:00pm)**

Katsura Campus, Cluster B Administration Complex

#### V Selection Methods and Examination Voucher

Applicants shall be selected on the basis of the submitted documents and their results of the academic examination.

##### i Academic Examination

Detailed instruction of the examination will be separately notified of their examination dates.

##### ii Examination Voucher

The examination voucher will be mailed to the applicant in early-February to the addresses written on the return envelope (i.e. above-mentioned Application Document ②) for examination voucher to applicant.

#### VI Announcement of Entrance Examination Results

Schedule **10:00 am, 22 February 2018**

Successful applicants' examination numbers will be listed on the website of the Graduate School of Engineering, Kyoto University. (Visit <http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1>)

A list containing the numbers of successful applicants will be sent to all applicants, and successful applicants will also be notified of authorization for admission. (The Graduate School of Engineering will not accept telephone inquiries regarding the examination results.)



## VII Admission Fee, Tuition and Admission Procedure

### i Admission Fee and Tuition

Admission fee: ¥282,000 (The amount is subject to change.)

**[International students expected to receive MEXT Scholarship and the students expected to graduate from the Master's Course Program of the Graduate School of Kyoto University are exempt from this fee.]**

Tuition: ¥267,900 for Fall Semester (annually ¥535,800) (The amount is subject to change.)

**[International students receiving MEXT Scholarship are exempt from this fee.]**

※ The amounts quoted above are tentative and may be revised.

※ If the amounts are amended at the time of admission or while the individual is registered as a student, the new amounts shall apply from the time of the amendment.

### ii Admission Procedure

- (1) Instructions on admission procedure will be mailed to each successful applicant in early-September 2018 to the address that you registered address on our internet application system.
- (2) A written notice must be sent to the Graduate Student Section of the Educational Affairs Division, when the address change is required.
- (3) Notify the cluster office for each department immediately if the successful applicant declines admission.
- (4) Successful applicants must obtain their student visas by 1 October 2018.
- (5) The admission procedure is scheduled in mid-September 2018.

## VIII Admission Policy

### i Philosophy and Objectives

The pursuit of the truth is the essence of learning. Engineering is an academic field that impacts the lives of people, and is greatly responsible for the sustainability of social development and the formation of culture. The Graduate School of Engineering at Kyoto University, based on the above premise, is committed to the development of science and technology with an emphasis on the fundamentals and in harmony with the natural environment. At the same time, we aim to assist students in their pursuit of a rich education with specialized knowledge, as well as the ability for its creative application, while nurturing high ethical standards.

### ii Student Profile

The Graduate School of Engineering welcomes the following students:

- Individuals who agrees to the philosophy and objectives of the Graduate School of Engineering and those who achieve these things actively.
- Individuals who have the basic education to pursue the truth and also have the judgment with logical thinking and beyond established concepts in specialized fields and related fields.○ Individuals who have a strong desire and initiative to pioneer new fields of science technology while integrating knowledge and keeping on solving, regarding the science technology and the social issues.
- Individuals with basic communication ability who understands other opinions and also express own opinions and assertions in an easy to understand.

Entrance examination will be performed individual academic exam, evaluate and select the applicants including English ability, with emphasis on the basic knowledge of specialized field and those who have logical thinking abilities.

In addition to the above mentioned points of view, selection of doctoral course will select applicants with advance on research and explanation ability logically.

## **IX Educational Programs in Doctoral Course**

As of April 2008, the Graduate School of Engineering instituted a new Integrated Master's-Doctoral Course Program for students who look beyond the master to doctoral degree. For the classes offered in the programs, refer to the course catalogs provided after the admission.

### **i Curriculum in the Graduate School of Engineering**

The purpose of the curriculum in the Graduate School of Engineering of Kyoto University is to nurture independent-minded researchers and technically sophisticated engineers dedicated to the search for truth. We aspire to produce cultured, unique graduates with high ethical standards who are capable of using their wide range of knowledge to creatively conduct advanced research, develop science and technology in harmony with the natural environment with an emphasis on basic research, and contribute to the search for truth, a sustainable development of the global society and the continual creation of culture.

In order to accomplish the above, the Doctoral Course Program (3 years) focuses on research-oriented education and assembles research teams in new research fields to nurture researchers who are capable of leading new research. We provide a rich variety of study subjects, experiments, lectures and seminars in order to instill in students the specialized and fundamental expertise needed to conduct research. As appropriate to the student's chosen field, we also provide ORT (On the Research Training) at our cutting-edge facilities in the Katsura Intech Center on the grounds of Graduate School of Engineering, at sponsoring companies, at international organizations and elsewhere, as well as long-term internships, in order to fuse a wide range of knowledge with an international perspective.

### **ii Educational Programs and Degree Requirements**

#### **(1) Educational Programs**

The Graduate School of Engineering at Kyoto University has two courses: the Master's Course Program (the first portion of the graduate school program) and the Doctoral Course Program (second portion of the graduate school program). This School provides a master-only program ("Master's Course Program") as well as a program linking the master with the doctoral courses (the "Integrated Master's-Doctoral Course Program" or "Integrated Program"). The Integrated Program is intended for students aspiring to earn a doctor degree and work as researchers in their fields.

The Master's Course Program offers lectures of the fundamentals in various specific fields. Students learn how to conduct research by conducting their own research for their theses. This is an educational program for students who hope to work as researchers or highly skilled engineers in corporations and research institutes.

The Integrated Program consists of the Interdisciplinary Engineering Course, courses that cross various departments that are taught at the newly established Advanced Engineering Education Center, as well as the Advanced Engineering Course taught in existing departments. Each program offers 5-, 4-, and 3-year courses. Applicants accepted into the Doctoral Course Program are enrolled in the 3-year Integrated Program.

Students in the Interdisciplinary Engineering Course must select a main academic advisor and 2 other assisting advisors. The student is registered under the department of the main academic advisor. These advisors will help the student determine a curriculum appropriate to his/her goal and provide detailed instructions including career guidance. The student's progress will be regularly monitored, at intervals set by each department, as he/she proceeds through the academic curriculum and research.

In any Master's Course Programs, for being accepted in the Doctoral Course Program, students must pass the corresponding entrance examination of the Doctoral Course Program.

#### **(2) Degree requirements**

A doctor degree will be awarded to students who have been enrolled in Doctoral Course Program in the Department for at least 3 years, have received research guidance, have completed at least 10 credits designated by their major fields, have successfully defended their doctor theses, and have passed the final examination.

Students recognized as accomplishing very fast progress in both in their Doctoral Course Program and in their research, and having successfully defended their theses, may be allowed to earn their doctor degrees in a shortened period of time.

## **X Educational Program (Interdisciplinary Engineering Course)**

### **Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering**

Urban areas with populations greater than 10 million (Megacities) are expected to be increasing at a rapid rate. Such urban population expansion and unmatched urban managements to these changes cause insufficient and unreliable urban services, environmental deterioration, and increase of hazard risks, which threat human security significantly.

Fulfilling basic human needs and assuring the self-sustainable recovery from environmental pollution and disasters in megacities have been the major challenges for several decades, and the situation still needs more improvement. One main reason for this unsuccessful situation was the unsystematic management of the technologies and systems for dealing with those risks rather than the rapid growth of cities. Besides past attempts to solve human security issues overlooked the importance of the development of human resources and communities for systematically applying those technologies and systems to their specific problems.

We define "Human Security Engineering" as a system of technologies (techniques) for designing and managing cities that enable inhabitants to live under better public health conditions, and also live free from potential threats of large-scale disasters and environmental destruction. For establishing this discipline, four existing fields, i.e. city governance, city infrastructure management, health risk management, and disaster risk management, are integrated into one discipline. Specifically, problem-solving education and research will be conducted on Megacities with emphasis on three key points: (1) active incorporation of strong local orientation and suitable local characteristics; (2) co-evolution of engineering technologies, urban administrative management, and system creation; and (3) inclusion of multilayered governance with various actors having different interests and values.

This educational program provides education in the core field of human security engineering and the four basic interdisciplinary fields, so that students can properly integrate and apply those knowledge, and create new methodologies to ensure the urban human security, as researchers and high level practitioners. Specifically, we put strong emphasis on the following aspects:

1. Creativity (in addition to having broad knowledge, the ability go beyond the boundaries of disciplines and subjects is important)
2. International experience (ability of research debate and presentation in English, education and research activity in foreign countries, and building international human network)
3. Independence (ability in research design and management, leadership, and problem-solving ability in practical situations)

### **Handling of Personal Information**

Personal information will be handled in accordance with "Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies, etc." and "The personal information policy at Kyoto University".

Name, gender, date of birth, address and other personal information provided through application is used for ① entrance examinations (application procedures and screening), ② announcement of successful applicants, ③ admission procedures.

In addition, personal information (including information relating to performance evaluation) of enrolled students provided through application is used for ① students affairs (management of students' ID, academic supervision, improvement of educational curriculum, etc.), ② offering support to students (securing student health care, career support, application for tuition exemption and scholarship, etc.), ③ collecting tuition fees.

Personal information provided through application may be provided to outside contractors for electronic data processing. In such cases, Kyoto University will conclude a contract with said outside contractor to ensure that personal information is managed and protected appropriately, in accordance with the Private Information Protection Law.

### **Inquiries**

Graduate Student Section, Educational Affairs Division,  
Graduate School of Engineering, Kyoto University  
Address: Kyoto University Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto 615-8530, JAPAN  
Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041  
FAX: +81-75-383-2038  
E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

For those examinees who will have difficulty in taking the entrance exam due to the inclement weather or emergencies, we will notice on the implementation of examination for Graduate School of Engineering, which will be posted on the following website. The website of the Graduate School of Engineering:

<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/>

The website of each department: Please access from above URL.

## ○専攻別入学試験詳細

### ○Details of Entrance Examinations of Each Division/Department

➤ 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）	.....	21
Division of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management (Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management)		
➤ 都市環境工学専攻	Department of Environmental Engineering	..... 26

※ 専攻・系によっては、出願書類以外にこの「専攻別入学試験詳細」により提出書類を指示している場合がありますので、注意してください。なお、「専攻別入学試験詳細」で指示された提出書類については、出願書類とは別に、志望する専攻の事務室（Cクラスター事務区教務掛）に直接提出してください。

※Depending on Divisions/Departments, applicants are requested to submit other documents besides application documents above. For details, please refer to page onward.  
Please be care noted that other documents required by each division need to be submitted to C cluster office.

## 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

### I. 専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、受験する選考方法および研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望区分の欄には第1志望の志望区分を選択すること。なお、各志望区分の教員の連絡先については、京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に問い合わせること。

#### (1) 社会基盤工学専攻

志望区分	研究内容 (担当教員) (平成29年10月現在)
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授）
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、地震時安全性向上・動的応答制御、構造計画・設計法・シナリオデザイン（高橋良和教授・山本貴士准教授）
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価と維持管理、海洋構造物の動的応答解析（杉浦邦征教授・松村政秀准教授）
4	橋梁工学：構造物の空気力学、風災害の防止と安全性評価、突風リスク評価、コンクリート構造物の劣化への環境作用及び評価、海塩粒子の輸送・付着機構（白土博通教授・安琳准教授）
5	構造ダイナミクス：構造物の動的不安定現象と制御、橋梁のエアロダイナミクス、空力不安定現象、流体関連振動、耐風設計法（八木知己教授）
6	水理環境ダイナミクス：界面水理現象、植生乱流、氾濫流の水理、都市の水防災、水制とワンドの水域環境、物質輸送と移動床現象（戸田圭一教授・山上路生准教授）
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（立川康人教授・市川温准教授）
8	地盤力学：地盤と構造物の相互作用（静的・動的）の解明と設計法の構築、地盤の変形と破壊のシミュレーション、液状化解析法、メタンハイドレート含有地盤（木村亮教授・木元小百合准教授）
9	社会基盤創造工学：車両-橋梁連成系の構造動力学、橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスマニタリング、移動橋梁点検、スマートセンシングシステム、走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（金哲佑教授）
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市のレーザ計測、都市活動のセンシング（宇野伸宏教授・須崎純一准教授）
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチャ、風土・景域環境、地域計画、都市形成史など（川崎雅史教授・山口敬太准教授）
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のマイクロモデル（後藤仁志教授・原田英治准教授）
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（三ヶ田均教授）

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (平成 29 年 10 月現在)
14	地殻開発工学：室内実験及びフィールド観測による、石油・天然ガスの開発、炭酸ガスの地中貯留、放射性廃棄物地層処分、深部鉱山の岩盤挙動解明のための研究 (石田毅教授・奈良禎太准教授)
15	計測評価工学：地下構造物の施工・維持管理、磁気・レーザー・超音波を用いた非破壊検査、誘電法・光ファイバなどによる地下環境や廃棄物処分施設の計測システム (榎利博教授・塚田和彦准教授)
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明 (藤田正治教授・竹林洋史准教授・堤大三准教授)
17	防災水工学：洪水流の3次元構造とその応用、洪水氾濫と遊水の水理、土砂移動現象、沿岸域における流動解析、河川環境保全 (中川一教授・川池健司准教授)
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明 (渦岡良介教授)
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨・洪水予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程 (中北英一教授・山口弘誠准教授)
20	海岸防災工学：地球温暖化に伴う沿岸環境変化の影響評価と適応策、津波災害の工学的対策、高潮・高波・津波のモデリング (森信人准教授)
21	防災技術政策：地球温暖化による流域への影響評価、洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定、陸域海洋相互作用 (寶馨教授・佐山敬洋准教授・Lahournat, Florence 講師)
22	水際地盤学：海岸浸食の防止技術、沿岸構造物の実用的防災工学、水際域の堆積物動態と地形変化過程、沿岸環境の保全技術、土地・水域利用一体型の沿岸防災と海岸環境マネジメント (平石哲也教授・馬場康之准教授)
23	計算工学：自由水面流れの数値計算、流体・構造連成解析、水理分野の大規模高速計算、離散化と数値解法 (差分法・有限体積法・有限要素法)、並列計算、数値可視化 (牛島省教授)
24	国際環境基盤マネジメント：構造ヘルスマニタリング、非破壊検査、水工構造物の設計基準検討、気候変動を考慮した水工構造物の長期対策 (金善攻准教授・張凱淳講師)

## (2) 都市社会工学専攻

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (平成 29 年 10 月現在)
26	構造物マネジメント工学：高耐久性構造物、モニタリング、維持管理、構造物の延命化技術、低環境負荷土木構造 (河野広隆教授・服部篤史准教授)
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学 (清野純史教授・古川愛子准教授)
28	河川流域マネジメント工学：河川・人工水路など開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、湖沼の環境水理学、地下水水理学、河川事業に対する問題意識分析 (細田尚教授・音田慎一郎准教授)
29	土木施工システム工学：地盤施工学、海外建設プロジェクト、プロジェクトリスクマネジメント、都市地下水環境保全、アセットマネジメント (大津宏康教授・Pipatpongsa, Thirapong 准教授)

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (平成 29 年 10 月現在)
30	ジオフロントシステム工学：粘性土地盤の時間依存性変形解析、歴史的地盤構造物の保全技術、地盤情報データベース、不飽和土の微視的構造と巨視的力学挙動の関係の解明、不飽和土・飽和土の先進的数値解析手法の開発（三村衛教授・肥後陽介准教授）
31	地球資源システム：石油・天然ガスの貯留層内流動解析と効率の増進回収技術、環境調和型資源開発技術、深部掘削における地層中の原位置応力状態の解明とその計測技術の開発、高温高压条件下で岩石の物理的性質を評価する技術（林為人教授・村田澄彦准教授）
32	計画マネジメント論：社会資本政策論、交通行動とコミュニケーション行動、アセット・リスクマネジメント（小林潔司教授・松島格也准教授）
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論（松中亮治准教授）
34	都市基盤システム工学：地下空間の開発と利活用、地盤材料の力学-水理-熱-化学連成問題、交通・物流システムの最適化（岸田潔教授・山田忠史准教授）
35	交通情報工学：公共交通計画、ビッグデータの利用、ITS 利用の交通マネジメント、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ（Schmöcker, Jan-Dirk 准教授）
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、行動的意思決定研究、実践的まちづくり社会科学的研究、行動論的交通需要分析（藤井聡教授）
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数理地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術（小池克明教授・後藤忠徳准教授）
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造（澤田純男教授・後藤浩之准教授）
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価（田中茂信教授・田中賢治准教授）
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減（堀智晴教授）
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、自然と産業の複合災害のマネジメント、化学的事故、インフラストラクチャと地域資産の持続可能なマネジメント、カタストロフリスク下の経済成長分析（Cruz, Ana Maria 教授・横松宗太准教授）
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理（角哲也教授・竹門康弘准教授・Kantoush, Sameh Ahmed 准教授）
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害論、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災（五十嵐晃教授・米山望准教授）
44	国際都市開発：都市・地域貨物輸送、ヒューマンタリアンロジスティクス、地盤環境問題の修復（Qureshi, Ali Gul 准教授・Flores, Giancarlo 准教授）

## II. 募集人員

社会基盤工学専攻 若干名

都市社会工学専攻 若干名

## III. 出願資格

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

- ・本募集要項の4ページから始まる各専攻に共通の要項（以下「募集要項」と略す）4ページ「II-i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望する者。

## IV. 学力検査日程

選考方法により下記のとおり実施する。口頭試問の時刻・場所など、詳細は事前に、桂キャンパスCクラスターC1棟191号室（1階、大講義室）西側廊下の社会基盤工学・都市社会工学専攻掲示板に掲示するので、注意すること。

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考試験

口頭試問の試験日時および試験室については別途通知する。

#### ○学力検査に関する注意事項

- ・試験開始時刻15分前までに受験者控え室（桂キャンパスCクラスターC1棟192号室）に集合すること。
- ・試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・口頭試問における口頭発表では、コンピュータと接続可能な液晶プロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。ただし、プレゼンテーション目的以外の電子機器の使用は一切認めない。また、万一の機器不具合に備え発表資料の印刷物を5部持参すること。
- ・口頭試問のスケジュールを変更する場合、該当者に事前に通知する。

## V. 入学試験詳細

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱにより可否を判定する。

#### (a) 口頭試問Ⅰ（500点/1000点）

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について30分程度の口頭試問を行う。

#### (b) 口頭試問Ⅱ（500点/1000点）

修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた15分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて30分程度）。



## (2) 有資格者及び合格者決定法

### (a) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰが300点以上で、かつ口頭試問Ⅱが300点以上の者を有資格者とする。

### (b) 有資格者の中から合格者を決定する。

## Ⅵ. 出願要領

### (1) 別途提出書類について

全ての受験生は、工学研究科に提出する出願書類以外に、下記の書類を郵送（書留便）または窓口で提出すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

#### (a) 書類提出期限

平成30年1月18日（木）午後5時（必着）

#### (b) 提出先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-2967

#### (c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

- 日本語あるいは英語で記述した研究経過・計画書5部（A4紙10頁以内。様式-D1に必要事項を記入し表紙とすること。希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）

## Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）「人間安全保障工学分野」に限られる。

## Ⅷ. 教育プログラムの内容について

### 【融合工学コース】

募集要項「Ⅹ. 教育プログラムの内容（融合工学コース）」を参照すること。

## Ⅸ. その他

### ○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-2967

参考 URL：

- ・社会基盤工学専攻：<http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/>
- ・都市社会工学専攻：<http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/>

# 都市環境工学専攻

## I. 志望区分

以下に示す研究内容を参照し、インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望区分を選択すること。ただし、来年度学生を受け入れることができない志望区分もあるので、予め志望区分の教員と十分に連絡を取り、受け入れの可否を確認するとともに、受験する選考方法および研究計画等について相談すること。

志望区分	研究内容 (担当教員)
	(平成 29 年 10 月現在)
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 (高岡昌輝教授・大下和徹准教授・水野忠雄講師)
2	環境衛生学、環境予防医学、環境予防工学 (環境化学物質・大気汚染物質等のリスク評価と評価手法、予防・軽減手法の開発) (高野裕久教授・上田佳代准教授)
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 (西村文武准教授・日高平講師)
4	環境リスク工学、健康リスク評価、環境汚染物質の毒性評価、土壌・地下水汚染管理、地圏生態リスク評価、放射能環境汚染対策 (米田稔教授・島田洋子准教授)
5	大気・熱環境工学、地球温暖化、地球環境の統合評価、循環型社会形成 (一)
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、上水道システムのトータルデザイン (伊藤禎彦教授・小坂浩司准教授)
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、水環境天然有機物の特性解析、土壌・地下水汚染・浄化 (清水芳久教授・松田知成准教授)
8	環境質予見、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、雨天時排水管理、藻類毒素の動態解明、水域生態系保全、汚染源の推定と管理 (田中宏明教授・山下尚之講師)
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 (酒井伸一教授・平井康宏准教授)
10	安全衛生工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント (橋本訓教授・松井康人准教授)
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 (藤川陽子准教授)
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 (福谷哲准教授)

志望区分 5 を志望する場合は、都市環境工学専攻長にあらかじめ連絡、相談すること。

## II. 募集人員

若干名

## III. 出願資格

京都大学大学院工学研究科平成30年度10月期入学博士後期課程外国人留学生学生募集要項（以下「募集要項」と略す）4ページ「II i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」を志望する者。

## IV. 学力検査日程

口頭試問の試験日時、試験室および学力検査に関する注意事項については別途通知する。

## V. 入学試験詳細

### (1) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問により、合否を判定する。なお、TOEFL、TOEICまたはIELTSによる英語の得点が下記の口頭試問での評価に算入（1000点中100点）される。

#### (a) 口頭試問（1000点満点）

- ・ 修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容およびそれに関連する分野の基礎学力と博士後期課程での研究計画に関する試問を行う。

【注意】 TOEFLについては、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Institution Code:B409により、期日までに工学研究科に提出されるように手続きするとともに、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードしたPDF形式のTest Taker Score Reportを印刷したものも可）を提出すること。また、TOEICの場合は公式認定証（Official Score Certificate）、IELTSの場合は成績証明書（Test Report Form）（以下、これらを成績証明書と略す）を提出すること。詳細は、次のVI. (1)を参照。

### (2) 有資格者及び合格者決定法

口頭試問が600点以上の者を有資格者とする。その中から合格者を決定する。

## VI. 出願要領

募集要項の「III 出願書類等」に記載の出願書類等を工学研究科に提出するとともに、以下に示す別途提出書類を下記の京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻入試担当）へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

- ・ 提出先：〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 Cクラスター事務区教務掛  
都市環境工学専攻 入試担当  
TEL：075-383-2967

### (1) 別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

下記①～⑤の別途提出書類を、平成30年1月10日（水）午後5時（必着）までに、京都大学大学院工学研究科Cクラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）へ提出すること。提出にあたっては、予め志望する指導教員と十分相談しておくこと。

- ① 別途提出書類届（様式-D1）
- ② 志望する指導教員調書（様式-D2）
- ③ 成績証明書（出身大学学部及び出身大学院修士課程のもの）。ただし、外国人留学生書類審査に成績証明書を提出している者は不要。
- ④ これまでに行った研究内容および博士後期課程での研究計画に関するレポート4部（A4判、本文5ページ程度、図面を含めて10ページ以内、日本語か英語で記載のこと）。
- ⑤ TOEFLについては、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）のコピー（ウェブサイトからダウンロードしたPDF形式のTest Taker Score Reportを印刷したものも可）、TOEICまたはIELTSの場合は成績証明書（TOEFL、TOEICおよびIELTSについて平成25年8月1日以降に実施された試験に限る）。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式-D3）を提出してもよい。

#### 【英語成績の提出について】

- TOEFL については、受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）を都市環境工学専攻が指定する Institution Code:B409 により、平成 30 年 2 月 7 日（水）までに工学研究科に提出されるように手続きしなければならない。
- TOEFL の上記受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）、TOEIC または IELTS の成績証明書（TOEFL、TOEIC および IELTS について平成 25 年 8 月 1 日以降に実施された試験に限る）を何らかの理由で、上記期限までに提出できない者は、「入試別途書類（博士・英語）」と朱書した封筒で、平成 30 年 2 月 7 日（水）の午後 5 時必着で、「京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）」に提出または郵送しなければならない。
- TOEFL の場合は TOEFL-iBT (internet-Based Test) 及び TOEFL-PBT (Paper-Based Test)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC 公開テストの成績証明書のみ受け付ける。なお、TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。
- 成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
- 英語の評価は口頭試問の評価に算入（1000 点中 100 点）される。英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式-D 3）を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語力を評価する。
- TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。
  - TOEFL: 国際教育支援協議会 (CIEE)・TOEFL 事業部  
TEL: 0120-981-925、<http://www.cieej.or.jp/toefl/>
  - TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会  
TEL: 06-6258-0224、<http://www.toeic.or.jp/>
  - IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852  
(公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286  
<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

## Ⅶ. その他

### ○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
都市環境工学専攻 入試担当  
TEL : 075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、<http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/>を参照のこと。